

6月18日、市内で新型インフルエンザ（A型）の感染が確認されました。ここでは、現在の状況や予防法などを皆さんにお知らせします。

市では、感染した人の家族が通う幼稚園を休園にするのと同時に、感染した人と接触があったと思われる人の体調を確認しながら、感染防止対策に取り組んでいきます。

今回の新型インフルエンザは、毒性があまり強くないといわれていますが、感染力が高いため、引き続き予防に努め、冷静な行動をお願いします。今後の新しい情報は、県、市のホームページに掲載していきますので参考にしてください。

■問い合わせ 本庁健康増進課（内線832）

● 新型インフルエンザQ&A ●

- Q 通常のインフルエンザと見分けがつかますか？  
 A 症状が似ているため、見分けることは困難です。検査により確定診断を行います。
- Q 治療薬はありますか？  
 A 抗インフルエンザウイルス薬（タミフル・リレンザ）が効きます。これらは、医師が必要と認めた場合に処方されます。
- Q 何日ぐらいで回復しますか？  
 A 健康な人の場合は、一週間ほどで回復します。ただし、慢性疾患があったり体力の落ちている人は重症化することもあります。医師の指示に従って、適切な治療を行いましょう。

● インフルエンザにかからないために ●  
 人混みを避け、不必要な外出は控えましょう。混み合った場所ではマスクを着用し、うがいや手洗いをしましょう。手洗いは、石けんを使って15秒以上かけて洗い、清潔なタオルなどで十分ふき取ります。アルコール液による消毒も有効です。

● 感染したかも、と思ったら… ●  
 38度以上の発熱、咳、のどの痛み、風邪などの症状が2つ以上ある場合は、発熱相談センターにご相談ください。必要に応じて、受診する医療機関をお知らせします。移動の際はマスクを着用し、できるだけ公共機関の利用は避けましょう。適切な交通手段がない場合は、発熱相談センターにご相談ください。

■発熱相談センター

相談先	受付時間
県庁保健衛生課 (☎ 019-629-5466、 019-629-5472)	24時間 ※国・国・国含む
奥州保健所 (☎ 2861)	午前9時～午後5時半 ※国・国・国含む

■その他の健康相談

相談先	受付時間
水沢保健センター (☎ 4511)	午前9時～午後5時半 ※国・国・国含む

● 20代、30代の期日前投票立会人を募集します

第45回衆議院議員総選挙の期日前投票立会人を募集します。  
 選挙は、任期満了による場合は9月10日から前30日以内、衆議院の解散による場合は、解散の日から40日以内に行われます。

- ◆日時 選挙期日の11日前～前日（午前8時半～午後8時）
- ◆場所 各総合支所内の期日前投票所（予定）
- ◆対象 選挙人名簿に登録されている40歳未満の市民（平成21年4月1日現在）
- ◆内容 投票が公正・適切に行われているかを見守ることなど
- ◆報酬 日額9500円※1600円は所得税として差し引かれる
- ◆申し込み方法 「期日前投票立会人希望」と明記の上、次の①～⑤を記入して、封書・はがき・ファクス・Eメールで申し込む。①氏名②住所③生年月日④電話番号⑤加入・加盟している政党名（ない場合は無所属と表記する）
- ◆その他 登録制とし、都合に合わせて立会日時・場所を決定 ※現在の登録者は12人
- ◆問い合わせ・申込先 市選挙管理委員会（前沢総合支所内線413）〒029-4292 ※住所記載不要、☎ 3427 ✉ senkan1@city.oshu.iwate.jp



明るい選挙にご協力を

相原市長マニフェスト（政策宣言）の外部評価結果を公表

市長マニフェストの  
**通信簿**

本年度も、相原正明市長マニフェストの実施状況について公表します。

毎年行うこの評価は、客観的、専門的な評価を行うために、昨年から早稲田大学マニフェスト研究所（北川正恭所長）へ依頼しています。

3年を経過した評価結果は次のとおりとなりましたが、みなさんの評価はいかがでしょうか。



6月10日、早大マニフェスト研究所の林知行次席研究員が評価結果を公表しました。

3年経過の評価は85点

マニフェストとは、議員や首長選挙などの立候補者が、自ら掲げる政策について、期限や財源などの数値を入れて具体的に記述した選挙公約のことです。「相原正明マニフェスト」は3つの基本姿勢、5つの戦略目標、50の政策宣言からなり、市の総合計画に組み込まれています。評価は市長任期4年のうち3年を経過した中間評価として実施。100点満点中85点（昨年78点）となりました。評価の観点は、①マニフェストの実行過程②進捗よく度③取り組み全般④の3つの項目に分かれ、その合計が総合評価となります。評価に当たっては、5月20日、21日に市長を始め関係職員へのヒアリングが行われました。

公表された評価項目ごとの主な内容は次のとおりです。

- ① マニフェストの実行過程 (36点/40点満点)
- 良い点** 実行するための組織づくりは、「行動計画」、「マニフェスト実施状況管理表」により、うまく全体を把握して機能している。
- 改善要** マニフェストに関する情報を市民へ十分に引き渡せていない。また、市民参加が必要な政策で、参加しやすい仕組みの構築が遅れている。
- ② マニフェストの進捗よく度 (32点/40点満点)
- 50の政策宣言のうち、市全域にかかわる23政策の評価は、下表のとおり。対象自治区を定め、27政策を含む全体での評価は、もともと良いA評価が34政策(68%)、B評価が12政策(24%)、C評価が4政策(8%)となった。あと1年の任期で、B、C評価の政策にどう取り組むかが大きな課題となる。

③ マニフェストの取り組み全般 (17点/20点満点)

**改善要** 計画の変更などで評価がBやCになったものを重点に、説明責任を果たすこと。また、できなかったことをどのような方法で代替するかの説明も必要。

- 総括** 昨年と点数を比べると、評価されるよりも、評価の内容や、できなかったことなどのように実施していくことが大切。政策を実行するための仕組みは改善されたが、マニフェストは、市民生活を向上させるためにあるもの。市民のニーズに合致しているか、その妥当性を市民に問うための情報公開の取り組みがより必要となる。任期の最後の年は成果が問われる。最終年度に当たるこの一年は、情報公開と市民参画について一層の努力が求められる。
- 評価結果の公表方法** この評価結果は、市ホームページに掲載するほか、各総合支所、地区センターなどに配置します。ご覧いただき、ご意見などお気軽にお寄せください。

【早大マニフェスト研究所による相原市長マニフェストの進捗よく度（全体編）評価】

政策	評価	政策	評価	政策	評価
副県都の構築	B	どぶろく特区の取得	A	老人の健康増進と交流の場づくり	B
自治基本条例の制定	B	歴史・文化を活かした市街地活性化対策	A	小規模デイサービス施設の設置	B
成果主義などのニューパブリックマネジメントの推進	B	4年制大学の誘致	C	障害者が運営するコーヒージョッキなどの公共施設への設置	A
民間からの管理職登用	A	小学校からの英会話教育	A	市町村合併の推進	B
市長交際費の全面公開	A	世界遺産登録による関連観光事業・ニュービジネスの推進	B	1%条例奥州市版の制定	A
コンビニで市税や水道料の収納	A	子育て環境ナンバーワンづくり	A	女性登用率のアップ	B
市場化テストによる民間への業務開放	A	学童保育・病後児保育の充実	A	オーブンガーデンの街づくり	B
知識集積型の産業都市づくり	A			空き家を活用した1ターン推進	A

➡評価基準 A=順調に達成・順調に進んでいる B=遅れて達成・やや遅れている C=かなり遅れている（方針転換含む）